

第84回麻布獣医学会 一般演題4

盲腸に発生した消化管間葉系腫瘍 (GIST) の1例

滝本 守¹, 茂野 信也², 浦東 信充³, 飯盛 真生⁴, 森 一郎⁵, 宇都宮洋才⁵

¹たきもと動物病院, ²レオ動物病院, ³浦東獣医科, ⁴飯盛動物病院, ⁵和歌山県立医科大学

症例はイヌ雄12歳雑種, 前日より嘔吐, 食欲低下により他院にて治療するが改善せず来院された。

【初診時所見】

(平成21年5月27日) レントゲン撮影及び腹部エコーにて腹腔内腫瘍を確認した。

【手術時所見】

(平成21年5月29日) 開腹手術を行い, 盲腸を巻き込んだ腹腔内腫瘍を摘出し, 病理検査を行った。

【病理所見】

直径13 x 10 cmの境界不明瞭な灰白色充実性腫瘍で盲腸の筋層から腹膜側に浸潤性に増殖してみられ

た。

腫瘍細胞は円形ないし楕円形の核を有し, 紡錘形の腫瘍細胞が横並びするように密に配列していた。

周囲脂肪組織への浸潤を認めた。細胞分裂像は目立たず, 免疫染色でc-kit陽性を示した。

【結語】

獣医学領域でのGISTの報告は少なく, 本腫瘍の存在自体が十分には知られているとは言えないが, 2003年に21例をまとめた報告があり, 実際にはそれほどまれではない可能性がある。

イヌの盲腸に発生した消化管間葉系腫瘍 (GIST) の1例を経験したので, 文献的考察を加え報告する。